

要件事項	<p><航空／海上業務> 特例申告に係る即納対応</p>
機能概要	<p><変更前仕様> 特例申告の関税等の納付について、一括納付対象となった場合に即時に納付ができない。</p> <p>一括納付対象：納税方式が特例申告即納で、特定日*までに特例申告が受理された場合（ただし、特例委託輸入（引取・特例）申告の場合で、無符号輸入者の場合は除く。） （*）輸入（引取）許可日の翌月20日。ただし、システムに納税方式が特例申告即納に係る一括納付書等の出力日を8日にする旨の登録がある場合は、輸入（引取）許可日の翌月7日。</p>
	<p><変更後仕様> 特例申告、特例委託特例申告（以下、特例申告に含む。）、輸入（引取・特例）申告、特例委託輸入（引取・特例）申告（以下、輸入（引取・特例）申告に含む。）、蔵出輸入（引取・特例）申告（以下、輸入（引取・特例）申告に含む。）の事項登録業務において、「納付方法識別」欄に新規コードを入力することで、即時に納付可能とする。</p> <p>（対象の申告等種別コード） T：特例申告 V：特例委託特例申告 J：輸入（引取・特例）申告 P：特例委託輸入（引取・特例）申告 R：蔵出輸入（引取・特例）申告</p>

1. 変更内容

(1) オンライン業務の変更

(A) 輸入申告事項登録業務における「納付方法識別」欄の入力チェック処理の変更

特例申告及び輸入（引取・特例）申告（申告等種別コード：T/V/J/P/R）の事項登録業務において、「納付方法識別」欄に新規コードを入力することで、一括納付対象外とし、即納を可能とする。

納付方法識別欄及び口座番号欄へ入力可能な組み合わせについては、「IDA_01_本文_特記事項抜粋」参照

表 1. 「納付方法識別」欄の入力について

納付方法	入力値	備考
MPN	M	既存の入力値
直納	入力なし	既存の入力値
リアルタイム口座	R	既存の入力値
リアルタイム口座（即納科目）／MPN （納期限延長科目）	C	既存の入力値
MPN（一括納付対象外）	<u>W*1</u>	新規追加
直納（一括納付対象外）	<u>X*1</u>	新規追加
リアルタイム口座（一括納付対象外）	<u>Y*1</u>	新規追加
リアルタイム口座（即納科目・一括納付 対象外）／MPN（納期限延長科目）	<u>Z*1</u>	新規追加

(*1) 以下の申告等種別コードの場合のみ入力可能

T：特例申告

V：特例委託特例申告

J：輸入（引取・特例）申告

P：特例委託輸入（引取・特例）申告

R：蔵出輸入（引取・特例）申告

(a) 「納付方法識別」欄の入力チェック処理の変更

特例申告及び輸入（引取・特例）申告の場合に、新規コードの入力を可能とする。特例申告及び輸入（引取・特例）申告以外の場合は入力不可とする。

表 2. 「納付方法識別」欄の新規エラーについて

項目	エラーコード	エラー内容	処置
納付方法識別	S0313	入力された納付方法識別は、輸入（引取・特例）申告及び特例申告のみ使用可能である。	適切な納付方法識別を入力する。

(b) 変更対象業務

- ①「輸入申告事項登録（IDA）」業務
- ②「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務
- ③「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務
- ④「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務

(B) 納付処理の変更

特例申告受理時に、一括納付対象外の納付方法識別が登録されている場合、一括納付対象とならないように処理を変更する。（申告等種別が特例委託輸入（引取・特例）申告の場合で、無符号輸入者の場合と同様の処理とする。）

納付方法識別に、リアルタイム口座（一括納付対象外）に対応する新規コードを指定している場合、特例申告受理時に即時引き落とし処理を実施する。

(a) 変更対象業務

- ①「輸入申告（IDC）」業務
- ②「輸入申告変更（IDE）」業務
- ③「一括特例申告（TKC01）」業務

2. 変更対象業務

<オンライン業務>

- ・「輸入申告事項登録（IDA）」業務
- ・「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務
- ・「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務
- ・「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務
- ・「輸入申告（IDC）」業務
- ・「輸入申告変更（IDE）」業務
- ・「一括特例申告（TKC01）」業務

3. 添付資料

- (1) IDA_01_本文_特記事項抜粋

4. リリース予定日／サービス開始予定日

- (1) AP

AP : 2023年03月19日（日）保守時間帯

端末資材 : 2023年03月19日（日） 04 : 00